

第1回 幼稚園適正配置内部検討委員会 委員意見等 (H27.5.29)

NO	委員	主な意見	その対応等 (回答)
1	山口委員	適正配置とは、子どもの数が減っているから幼稚園の数を減らす、各幼稚園の配置を考える、というものか。	そのとおりです。【部長】
2	〃	統合するということか。	その場合もあります。【部長】
3	〃	公立幼稚園はなくなるのか。	公立幼稚園は現在在園者数が少なく、今後ますます減少していくことが予想されることから、幼稚園を集約していくということが、検討の大きな方向性としてあります。 本委員会等をととして、幼稚園における子どもの生活環境に関する問題、また幼稚園運営面に関する問題について、保護者と園と共通理解を図りたいと考えています。【学務課長】
4	栗野委員	本委員会が、幼稚園の統廃合について検討する委員会であるということが、今日の説明をきいて理解できた。 長男が第二幼稚園に入園したときは入園者が非常に多かったが、2番目の子が入園するときはそのときと比較してとても減ったという印象だった。そのとき、第二幼稚園がなくなるという噂をきいたが、結局なくならず、安心した。 公立幼稚園の存在を知らない人が多いのでPRに力をいれるべきではないか。個人的・経験的な推測だが、公立幼稚園の存在を「知らない」人が多いから、入園者が集まらないのではないかと思う。案として、3歳児検診の機会を利用して、公立幼稚園について保護者にPRしたらいいのではないか。	私立幼稚園に比べたら、PR不足といえるかもしれない。ご意見を受け止めて、公立幼稚園が新たな形になることを契機に力をいれていきたいと考えています。【学務課長】
5	〃	保育料について、公立の幼稚園は安いですが、その金額以上のものを保護者は公立に求めていると思う。	公立と私立でそれぞれ違いはありますが、保護者は何を望んでいるのか等について、7月に保護者向けのアンケート実施を考えています。

			つきましては、次回の委員会でそれについて意見をだしていただきたいと考えており、それら意見を集約できれば、非常に参考になると思います。 【学務課長】
6	来栖委員	保育料が安いこと、少人数であるため子どもがよく面倒を見てもらえること、これらの理由から公立幼稚園への入園を決めた。 園児数が少ないことによる子どもへの影響については、公立幼稚園を卒園した自分の子どもは小学校での集団生活になじめている。	少人数については良い面もありますが、公立幼稚園の運営については費用対効果を求められており、市議会から厳しい指摘をいただいています。【部長】
7	栗田委員	私は千葉県から引っ越してきたのだが、千葉県には公立幼稚園はなかった。茨城県に引っ越してきて、どこの幼稚園に入園するか検討するにあたり各私立幼稚園に電話していろいろ質問したが、制服代が非常に高い印象があった。 個人的に、転勤が頻繁にあるので、費用が安い公立幼稚園がなくなると経済的に厳しいと感じる。	制服については検討が必要です。 【部長】
8	福田委員	現在、土浦幼稚園は在園者数が26人であり、ちょうどいい。 公立幼稚園のPRについて、多くの人が存在を知っているものだと思っていたので、意外だと感じた。3歳児検診の際のPR案については、いい方法だと思う。 ふれあいデーについて、広報紙に掲載しているにもかかわらず、市民から問い合わせの電話がかかってくることから、保護者世代の市民の方々は広報紙を見ていないのではないかと思う。もっと見やすく、わかりやすいものを作れば良いと思う。	

		次回行う保護者アンケートについて、市P連で毎年、保護者アンケートを行っているので、それを参考にしてみるのはいかがでしょうか。	
9	渡辺委員	在園児の保護者の話からすると、上の子（兄・姉）が入園してくれたご家庭の場合、下の子（弟・妹）も入園させたいという人が多い。貴重な存在である。 公立幼稚園の内容をよく知っている保護者は、入園をさせるために4歳になるまで待ってけている。 公立幼稚園のHPは、何年も更新していなかったが、昨年度更新を行った。今年度もHPを更新したいと考えている。 広報紙について、子育て会議を通して、若い世帯は町内会に加入しないために広報紙を配布してもらえず、結果、情報が入らないという実態があるのだなと感じた。	
10	石川委員	現在の1学級あたりの人数について、ちょうどいい人数だと思う。個性のある園児が多いので対応する側としてはちょうどいい。 特別な支援が必要な園児が増えた場合、人手がいる。 公立幼稚園のPRについては、多くの場所に広告を掲載していけば、もっと多くの人に周知できるのではないかと考えた。	
11	今野委員	公立幼稚園は根本的に私立幼稚園と異なり、内容的に学校教育と直結しているので、いずれ全てなくなるということではなく、残るだろうと思う。 ただ、子どもが減っているので公立幼稚園が少なくなっていくのは仕方がない。	

		川崎市では保育料が月額 3 万 5 千円かかるため、祖父母の支援がないと保護者だけでは暮らしていけないのではないかと感じるので、公立の保育料を私立に近づけていくというのはちょっと違うのではないかと思います。	
12	—		現段階で、教育委員会としては公立幼稚園を全て無くす気は全くありません。あくまで適正配置をする訳です。今の状況のままで統合をすれば、1 学級あたりの人数は今とさほど変わらないだろうと考えています。 市議会のなかで、市民の税金を使って幼稚園施設の運営をするのはどうなのか、幼稚園 2 つで運営できるところをわざわざ 5 つ運営するのはどうなのか、また、公立は市民の税金で運営できるが私立は自らの努力で運営を行っている等の意見がありました。 すぐに同じ額にしろということではないと思いますが、ではいくらが妥当なのかについて、今後委員の方から意見をいただきたいと考えています。ぜひ先生方は園内で、保護者の方は友達と話をしてこの場で意見をあげていただきたいと思います。それらの意見を教育委員会にあげていきます。【部長】
13	栗田委員	スケジュールについて平成 28 年には幼稚園を減らしていくのか。	まずは内部検討委員会で検討して、次に外部の審議会で検討し、教育委員会としての案を決めていきますが、いつから新しい配置となっていくかは保護者や市民に十分周知してからが良いと考えています。 また、資料について「平成 28 年度から」統廃合を進めるのではなく、「平成 28 年度以降」統廃合を進めていくとい

			うことです。【学務課長】 平成２８年度になったらすぐ統廃合をしていくということではありません。ただ、平成２７年度末までには、２８年度以降、適正配置をどのように進めていくかについて決めなければならないと考えています。【部長】
14	福田委員	具体的に、どことどこの園を統合するのかということを平成２７年度末までに決めるのか。	その予定です。５園を２つにするとか３つにするとか、また、どこの園を統廃合するのか、それらの点については、別の審議会である、学区審議会で案を出してもらう予定です。【部長】
15	〃	敷地面積等がその決定に影響してくるのか。	具体的には話を進めながら決めていきますが、例えば施設状況や敷地の状況、また立地条件や私立幼稚園との配置関係のバランスをみて決めていきたいと考えます。【学務課長】

第2回 幼稚園適正配置内部検討委員会 委員意見等 (H27.6.30)

NO	委員	主な意見・質問	その対応等 (回答)
1	山口委員	定員数に対して園児数が少ないと改めて思った。また、先生数が少ないのは問題と思った。	「先生数が少ない」というのは、正職の先生では補っていないということかと思う。【委員長】 園児数に対する先生数の割合としては多いが、行事等色々なことを運営していくという面では、先生数は少ない。解消していくには、統合して園の規模を大きくしていくような対応が必要と考える。【学務課長】
2	委員長	私立と公立の幼稚園の違いは何かあるか。	公立幼稚園では、「子の成長にとって何が大事か」ということだけを考えていける点が特徴である。私立では、園長先生ごとの教育に対する考えや、それぞれの特色を活かして経営するという面もあるため、保護者へのアピールがある。園児ができることを助けてあげることが大事。公立では本当に大事なものを考えて仕事ができる。ただそれができる環境がないとダメではあるが、採算が合わないかもしれないが、大切なものが失われないようにしないといけない。【渡辺委員】
3	委員長	私立幼稚園は園による送迎や鼓笛隊等華やかに見える一方で、公立幼稚園は、指導要領に基づく幼児教育に特化している。公立に入園させる保護者の方は、この点を求めていると思う。だから、一概に採算についてだけで言及することはできない。しかし、経営となれば様々な市町村で幼稚園に限らず保育所においても民営化を進めているところである。指定管理者制度を導入したが、取消となった事例もあるようで、そのようにならないよう十分議論していく必要がある。 さて、公立幼稚園に足りないものは何か。	

4	太田委員 (栗野委員代理)	こどもを入園させる際、私立と公立どちらも検討した。2年保育にした1番の理由は甘えっこであったためである。ただ、実際入れてみてよかったため、下の子ども公立にいった。土浦市では3年保育が主流であるため、公立幼稚園という選択肢はなくなる。公立も3年保育であれば入園を考える人が多くいたと思う。2年保育と3年保育はだいぶ違う。公立幼稚園の園児が少なくなっているのは、その存在が知られていないからだと思う。 私立は英語や運動、ひらがななど目に見える成長がある。公立幼稚園は親が教えるのが前提のため、小学校入学したら周りに遅れをとるかもしれないという不安がある。幼稚園選びのとき、保護者はその「目に見える成長」に飛びついてしまう。公立幼稚園のいいところをPRできる場があればいい。	公立は3年保育もPRもやりたいところではあるが、民間とのバランスがあり、私立と対等な保育料でない。 土浦は他市町村と比較して私立幼稚園が多いので、上手に調整することも大切である。【委員長】
5	酒井委員 (来栖委員代理)	3年保育か2年保育かで迷った。ただ、ふれあいデーに参加し、こどもが1番喜んでいたので、公立にした。小学校区は都和南小だが、私立みどり幼稚園の出身のこどもが多く、英語や体操をすでに学んでいることや、同じ幼稚園から都和南小に上がる子が女の子ひとりであることから、入学時は不安だった。 また、私立幼稚園は登園時間の幅が広いのは魅力である。	登園時間については、見直しの際、運営の幅を持たせることも必要であるかと思う。【委員長】
6	栗田委員	教育や保育時間の延長など、公立に求めていたものは大きかったが、私立のサービスと比較すると、どんなに頑張っても公立はできない。ただ、公立らしさを活かしていれば良く、保護者としてもそれを選択肢とすることができるので、特にこうしてほしいという要望はない。しかし、やはり3年保育ではないところは	幼保連携認定こども園に移行した私立幼稚園は、受け入れが0歳児からになり、一気に定員が100%近くになった。 保護者のニーズもそれぞれ違うので、公立は公立の良さを出していくことも大事であると考えている。【委員長】

		残念である。幼稚園を選ぶ保護者からすれば園生活スタート時期が私立と異なるのが大きい。	
7	坂入委員 (井原委員代理)	不満はないが、しいていえば読み書きができるといい。いかに毎日楽しく通えるかが大事だと思う。	
8	委員長	公立幼稚園では読み書きをどれくらい教えているのか。	読み聞かせやお手紙ごっこを行っている。こどもによって、文字への関心度の幅が広いので、関心度が低いこどももあるので、個人差を大事にしている。ただし、年長の3学期になると担任が文字環境を意識して、文字を書く機会を多く取り入れている。自分の名前を書いたり、あいうえおが読めるようになるよう頑張っている。【石川委員】
9	委員長	旧土浦幼稚園と旧いくぶん幼稚園の統合を行ったその直後、何か問題はあったか。	それぞれのカラーが異なり、PTA などそれぞれのやり方があったが、話し合っ て進めてきた。また、PTA に積極性があ ったため、それを大事にして、私たちは 助言程度というかたちだった。【福田委 員】 統合当時、私は PTA への関わりは少 なかったが、旧土浦幼稚園と旧いくぶん 幼稚園のやり方をすり合わせるのは困 難だったという話は保護者から聞いて いる。私たちの代でやっとひとつになっ てきたという感じである。【山口委員】
10	委員長	私立幼稚園には PTA があるのか。また、公立幼稚園では PTA 費を集めているのか。	土浦市での状況はわからないが、私の 知る限りの他の自治体の私立幼稚園で は「PTA」とは呼ばれないが、「保護者 会」等という呼び名の組織はある。PTA 費を払うということはなかった。 また、土浦市の公立幼稚園では PTA 費を集めている。【今野委員】
11	委員長	先生から見て、今の公立幼稚園に足りないものがあれば、教えてほしい。	園児の将来をみたとき、行事や遊びを 通して園児は成長していくが、やはり今 の状況を見ていて園児の数が少ないの

			で寂しい感じはある。そういう意味では適正配置についての検討の必要性はあると思う。予算面に関しても、適正規模で配置されることにより生まれるものがあれば、それを幼稚園教育の充実にあてることができるのでは。子供たちが切磋琢磨してダイナミックな雰囲気になるといいと思う。【栗山委員】
12	委員長	ある程度の数の園児がいると、その雰囲気は楽しそうに見える。ある程度の数の園児がいることは大事かと思う。	
13	栗田委員	適正配置をしようと思ったのはいつからか。	旧土浦幼稚園と旧いくぶん幼稚園の在り方について、現在と同様に検討会を開き、考えを整理したのが平成 22 年 4 月で、そこから 5 年が経ち改めて園児数が減り、市全体として 5 園をどうしていくか検討することに至った。【学務課長】
14	委員長	保育所は統合できる状況ではないが、去年から見直しを行っている。 また、先日出席した会議で認定こども園として運営していくことについて話がでたが、民間の経営の弊害となりうることから現実的に難しい。 公立の良さを残しつつ、どの規模で適正配置を行うか、保護者等にアンケートをとって再び検討していきたい。	
15	福田委員	統合する際、駐車場のスペースが小さいため、確保を考えなければならない。 また、職員が若いと経験もないので、そのような意味で職員構成をうまくできればいいと思う。	公立幼稚園において、職員の年齢分布としては 40 から 50 代がいない。保育所では 30 後半から 50 代が少ない。それらの点については、運営の段階に入るときに考えたい。【委員長】

第3回 幼稚園適正配置内部検討委員会 委員意見等 (H27.8.18)

NO	委員	主な意見・質問	その対応等 (回答)
1	部長	今後、公立幼稚園の保育料が私立と同程度となり、ある程度負担が大きくなった場合のご意見をお聞かせください。	無条件に遊べるのは幼稚園までという考えがあり、できるだけ人数が少なく、無条件に楽しめるところが良かったため、公立にした。私立は英語や体操などの教育の部分があり、いろいろやらせるのが嫌であり、望んでいなかった。また、料金も高い。今の公立幼稚園に不満はない。先生達も十分やっていただいている。料金に関しては、私立は高いがその分プラスαがあるので当然。一方、公立は行事一つ一つにおいて保護者と先生たちによる手作り感がある。何を求めるか。もし料金については、それぞれの金額で納得する。 【山口委員】 私立か公立か、幼稚園を決めた時の決め手は公立が安かったから。公立の2年保育は悩んだが、料金が安いのは魅力。公立幼稚園の料金がこれ以上高くなるようであれば、私立も考えたかも。今の公立幼稚園の先生の愛情や教育をみると、この料金はすごく安い。 【栗野委員】 公立を選んだ理由は保育料が安いのが魅力的だったから。私立は明確な金額を調べてはいない。公立に教育や勉強を強くは求めているないので、今の金額のままで十分。 【栗栖委員】 教育という面で比較すると私立が高いのは当然。公立の保育料があがるのであれば、それなりの理由がないと納得できない。また、助成金について、私立で

			は助成金が年末にまとめて支給されると聞いたが、毎月納めるのが苦しい人にとっては、これでは難しい。もっとうまくできれば、私立に入る人が増えるのでは。 【栗田委員】
2	根元課長	新制度に移行した私立幼稚園は月々助成されます。	助成があっても私立はベースが安くなくても制服や給食費、教育費など附加するものが多いので、子供の人数が多い人はやっぱり公立選ぶのでは。 【栗田委員】 保育料では決めていない。家の近くの幼稚園だと、小学校に入った時に友達と一緒にいるのでなじみやすい。私立は友達と幼稚園でお別れするのでかわいそう。 【井原委員】
3	部長	幼稚園の教育は小学校のように指導要領があり、決められているのか。それとも各幼稚園でやることを決めるのか。	幼稚園でも指導要領はある。5領域というものがあり、それぞれに目標や達成の狙いがあるので、それを2年間かけておこなう。 【渡邊委員】
4	部長	私立のマーチングバンドみたいなものはその指導要録のプラスαの部分なのか。	マーチングは指導要領の教育とは別物。指導要領は1つだけに突出したものはすすめてはいない。 【渡邊委員】
5	部長	つぎは先生方に意見をききます。	私立幼稚園の補助金は所得に応じてあるのか。 【福田委員】
6	部長	所得制限があります。保護者助成金という3,000円については所得制限ありますが。	
7	部長	役所がお金を取る場合は基本的に市の条例で決めなければいけない。昭和62年から金額はかえていない。	新制度成立に伴って金額を上げた自治体が大阪等にあるが、多くはないです。 【望月課長】

			一番高いところは日立市の 6,800 円です。 【田中課長補佐】
8			保育料＝教育内容、ではないかと。 保育料が私立と同等になった時に、お金のある家だけしか幼稚園に入れないなんてことはあつてはならない。牛久あたりは 4,000 円をキープしている。 保育料が高くなったから教育内容を変えていくということは考えていない。 【渡辺委員】
10			渡辺委員の意見に同感。また、現在の保育料が 6,000 円でさえも支払いが苦しい家庭もあるのが現状。 【石川委員】
11			6,000 円で済むのはとてもありがたいと思う。たった 6,000 円と感じる。公立であるがゆえのメリット。確かに、金額をあげざるを得ないのは実際だと思う。 代わりとなるメリットという話があったが、幼稚園が少なくなった場合、送迎バスも必要になるし、預かり時間の延長も現状のままとはいかないと思う。すると保育料も 6,000 円ではすまないと思う。 アンケート回答のとおり、せめて 1 万円いかない程度がいいのでは。 【今野委員】
12			新治は独自の地域性もあるが、公立幼稚園としての保育料の金額は家庭にはきわめて負担が少ない。バスで門から門までの送迎をしている。恵まれている。が、その反面、今後の課題は大きいかと。6,000 円は家庭にはありがたい。年度末に戻ってくるお金も家庭にとってありがたい。

			【栗山委員】
13	部長	公立幼稚園の保育料は所得でどのように変わってくるのか。	三段階で変わります 6,000 円、2,500 円（市民税非課税世帯）、0 円の三段階です。 【望月課長】
14	部長	私立の新制度はどのように変わるのか。	私立は非課税世帯が 2,500 円、その上 が 9,200 円です。 【望月課長】
15	部長	2,500 円の人が 3,000 円の補助をもらったら 0 円になってしまうのか。	そうです。3,000 円の助成金の意味合いは、保育料分ではなく、保育料分以外のバスや給食費の補助等という意味合い。 【望月課長】
16			公立幼稚園の教材費や施設設備費などは市から出ている。一方、私立は当然補助がないので、各家庭の負担が大きくなるのは目に見えてる。 【栗山委員】
17	部長	最初に保育料の話をした理由は、幼稚園が統廃合され、保育料を上げた方がいいが、人が来なくなってしまっただけの意味がない、そこで保護者の皆さんから意見をききました 数だけの話であれば、2つの園があれば定員的には足りるが、公立の数を全くの 0 にするつもりはありません。 妥当な費用を探ったうえで、いくつ園を残すかを考えた方がいいかなと。	
18	部長	他には？	大阪の話があったが、これは全国的な流れの話なのか。 【栗田委員】
19	望月課長	こども子育て新制度ということで、料金体系や私立公立の区別など、同一保育・教育であれば、地域の実情を踏まえて自治体のなかで協議して新制度を実施していくという国の基本的な考えのもとやっています。大阪はいち早くに保育料を引	もともとは国が公立幼稚園の保育料の基準を示す話だったが、示していない状況です。 なお、私立の新制度の標準額は国で決めました。本市はそれより安い設定額です。

		き上げた事例である。保育料の県内の状況において今年度から私立と同額にした自治体は、神栖市、常総市、茨城町、那珂市（3年かけて同額にする）。 美浦村、つくばみらい市は私立ほどではないが金額をあげた。（9,000円、9,500円） 本市と同規模の日立市、水戸市、つくば市は現在協議中で6000円台のままです。	料金について、国のほうで何か示すという動きはもうでてこないのかなと。 値上げする際には、公立幼稚園の在り方（保育年数やバスなど）も見直しする必要があります。統廃合する上で、値上げたために園児が集まらないでは意味がないので、先に確認しました。 【部長】
20	部長	新治幼稚園のバスについては、保護者から何らかの費用を徴収しているのか。 実際、バスを走らせるには非常に金額がかかる。こちらも国のほうで制度改革を行ったので、7,000万円ほどかかるか心配したが、それほどではなかった。行方市は非常にお金をかけている。	特に徴収していない。 【栗山委員】
21	部長	その他、ご意見ありますか。 公立幼稚園については90%以上安心してアンケートで示されているので安心してはいるが、そんなに増えていくわけでもなさそうである。 なぜこんなにも公立幼稚園児数は減ってしまったのか、原因はよくわからない。	情報がないのでは？ 私立の場合、バスが通るので、そのバスの広告をとおしてその存在を知ることができる。 公立はバスがないので、どこにあるのか、むしろ存在の有無さえもわからない。 【栗野委員】
22	部長	民間と競争する部分は、行政は宣伝しづらい部分があります。 例えば、市営駐車場は1時間200円、1日2,000円。民間なら1日安いとこで500円。では市営の金額を下げられるかというとな難しい。	公立は安いから施設がよくない等のイメージが根強くあるのでは。 公立幼稚園は芝生であることや、小学校と連携してることなどのアピールもした方がいいのでは。 【栗野委員】
23	事務局	報告案の説明	
24	部長	3園という話はなかったかもしれないが、民でできるものは民でということから減らせるものは減らしたほうがいいと市職員として思いますが、自宅の近くという観点からは北・南・中央で3園。	北と南というのは、都和と新治、二幼と岩幼ということか？都和と新治は遠いと思うが。 【栗田委員】

		園長会では「認定こども園の設置」による5園存続という意見があったが、その設置が可能な施設がなかったので、実現はできなかったです。 そのような中で、事務局としてもみなさんのご意見としても3園は残してほしいという意見であったのでこのような報告案となっています。保育料は現状のまま。最終判断は市として行います。 報告案についてはどうでしょうか。	いずれにしても送迎バスが必要ではないか。 【栗山委員】
25	部長	バスを出して、その代わり2園という案もありました。しかし、特別な支援を要する園児の数について、増加の傾向であり、実際に支援が必要そうな園児は2割くらいいるのではないかという話をきいたので、それを含めると2園の運営は難しいと思われます。	バスに1時間乗っているのは疲れるな、というのが個人的な意見。それが、統合後にバスを走らせる場合、1台ではこどもたちはつらいと思う。2台走らせて、せめてもう少し乗車時間を減らせてあげれば。 【栗山委員】
26	部長	阿見は7時半に乗車し、11時半に園に到着。2時間はつらいと思う。 負担代についてはわからないが、小学校は現状、保護者からの負担は0です。その辺を含めての検討となるかと思います。	バス代の負担は保護者からとるのか。 【福田委員】
27	部長	新治幼稚園のバスは新治幼稚園が所有しているものか。	委託ではなく、平成24年度に450万円で購入。人件費と維持管理費がかかっています。 小学校の通学バスについては委託ですが、バスの金額を含めて幼稚園とほぼ同額（虫掛コース約530万）かと思います。実塚コースは2ルート880万円です。 【望月課長】
28	?	できれば5園のこしてほしい。	おそらく、そのような意見だと参考にはされない可能性があります。 【部長】
29	渡邊委員	特別な支援を要するこどもの入園について、すでに相談がある。	実は土浦市は、発達に教育支援を要するお子さん方に対しての療育指導も県

		仮に1園となってそのようなこどもの入園が集中すると園として負担が大きいので、そのような集中を避けるためにも2園か3園は残してほしい。	内で一番だと思います。 支援を要する子どもを含めて、みんなどんな子どもたちも一緒に生活できるっていうのは公立のいいところだと私は思ってます。 【部長】
30	栗野委員	幼稚園はそのまま残して空いているところを学童にするっていう噂があったんですけど。	実際お借りする話は出しました。空き教室は学童保育に使ってくださいという文科省からの話で、第二幼稚園のほうの部屋を使っています。 学童も今から充実させなくてはいけないので、本市は学校の中に全部つくってますけど、つくば市のように民間の学童でやってるところもあります。 【部長】
31	栗野委員	それは幼稚園として5園残して、半分は学童に使うっていう方法は無理なんですか？	使えるところもありますけど。大岩田と第二幼稚園しか。 【部長】
32	栗野委員	ほかは小学校は離れてる？	離れています。 新治幼稚園はかなり離れてます。 【栗田委員】
33	部長	小中一貫校ができたとしても、今の市の考え方は、そこから学童保育をやるところまで歩いて行かせることはNGかと。学校内に設けてある場所っていうのが今の基本的な考え方です。新治小中一貫校の場合はそのあとスクールバスを出すことになると思いますので、スクール（バス）でたとえば送るっていうのもできるとは思うんですけど。これに関してご意見、山口さんどうですか？	最初に思ったのは、資料を読んでいくと公立も私立も子どもの数がどちらも減ってるっていう話だったので、結局子ども自体が減ってるってことなのかなって思った。最初、私は公立の子どもが少ないのは働くお母さんが多いからかなって思ったんですが、それもどうなのかちょっとよくわからないんですけども、ほかの県とかでは待機児童とかって騒いでるじゃないですか、茨城はあんまりないんですよ。つくば市かどこかでちょっと騒いでるくらいで。 それにいま阿部首相もなんとかお母さんを働かせようとしていることもあるし。なのでそういう兼ね合いがあってどうしても保育所だったり、預かり保育

		の時間が有利な私立のほうに就園するのかなと思ってた。で、そうするとやっぱり私も公立に子どもを預けている身なのでわかるんですけども、やっぱりみっちり働こうとすると公立ではどうしても無理。4時までなので。なので現状私自分の個人の考えとして、働きたい気持ちはやまやまだけれども、今とりあえず公立に子どもを預けてしまったので、働くのは子どもが小学校にあがってからしかないかなっていう気持ちではいたんですね。 だからまあ、これからどんどん女の人も社会にでていかされるようにすると、やっぱり公立ってどうしても不利なのかなと思う。 あとはその教育云々に関したりお金云々に関しても、働いているお母さんも多いのかなと思ったのと、あと教育熱心のお母さんも多いのかな。私何も考えてないほうなので、よく遊んでればいいと思ってるほうの人間なのでよくわからないんですけども。けっこう教育熱なお母さん、やっぱりお母さん同士で話していると、そんなこと考えてるんだあ、っていうお母さんが結構多くて、私なにやってんだらうなって思うときが多いんですけども。それなりに、やっぱり自分の子どもなのでこうしたいああしたいなのがあって、それで選んでるお母さんもけっこう多いのかなと。もうほんとにすごく多様化してると思うんです。昔、私も実はいくぶん保育園を出ておりまして、約40年ほど前に園児だったんですけども、やっぱりそのときとはお母さんの家庭に対する考え方とか、教育のことに関する考え方とかだいぶ
--	--	---

			違うのかなと。 私個人としては公立の園の良さってすごくわかってる人はわかってると思うんですよね。私もそうだったように子どもにもそうやりたいがあるので、私立並みにあんまり逆に派手に宣伝をされると不信感じゃないですけど、えー？っていうのがたぶんあるのかなって私は思った。だから、認定こども園っていう話もありますけれども、それもよく調べるとすごく合理的っていうかやっぱりその働く人のためみたいなのがあって、いいところ取りっていう文言がよく出てきていたんですけど、保育所と幼稚園のいいところ取りって、そりゃ行くよなっていう。 【山口委員】
34	部長	ほんとはたぶん、幼稚園と保育所がなくなって、保育所だけっていうのはあっても、幼稚園は全部なくなって認定こども園に移ると、24年ころはそういう話だった。ほんとは幼稚園ってのはなくなるわけで、認定こども園にみんな移るわけだったが、なんか途中で慶応幼稚園とか有名私立幼稚園から大反発がでて、幼稚園も単独で残るようになった。だから余計わかりづらい制度になっちゃったのかもしれない。	ぐじゃぐじゃですよ。 私も正直、あれあれあれ？あの話は何？っていう、1度話が出てまた下がったじゃないですか。そういうのもあって、すごく最初に適正配置っていう話になったときに、ん？っていう正直ものすごくあって、まあどうなるのかな？っていう、結局はわかってるようなわからないような半分半分で9日にきてしまったっていうのも、正直私はあります。ほかの人はわからないんですけど、正直私はなんとなくきてしまったっていう気持ちのほうすごくあるので、なのでここまでの適正配置の考え方っていうのが出てきたので、この方針でいくんだってのはだいたいわかってきましたけれども。 あとは私としては最後に書いてある適正配置にあたっては預かり保育の時間の延長とか送迎バスだとかっていう、

			あとは仮に統合があったとしてもそのあとのフォローさえしっかりしていただければお母さんたちもそんなに不安はないのかな。あとお金に関しても私立も公立も同じになるならなって、やっぱりその分はフォローの分にあててもらえたらすごくいい、その教育をしてほしいっていうお母さんもいると思うけれども、でも最終的には安心して子どもを預けられるっていうところを私はいちばんみているので。 【山口委員】
35	部長	今回、保育料の話については来年いっぱいには協議していくのか。	今年度協議するしかないかと。この会は3回目で区切りだが、学区審議会で答申をえて決定していくのが12月見込みで、その後、委員さんに報告を予定しています。そのなかで保育料の件も意見いただければと。 【望月課長】
36	栗野委員	思い出したことで、公立を選んだ理由として保育料が安いので、教育以外の他のことにお金をかえたいことという意見がママ友からある。 また、5園から2、3園になることが案としてできていることが衝撃。いくら意見をだしても決定なのだと思った。	たたき台がないと話し合いがうまくいかないと思い、案として出したので決定事項ではないです。 【部長】
37	栗野委員	どこかなくなってしまうのだろうと思うが、どこの園も寂しいと思ってると思う。 ただ歳出をみたとき、人件費の大きさから3年保育は難しいのかな。	人件費と3年保育の話は関係ないです。 【部長】
38	栗野委員	3年保育してほしいと毎年意見（アンケート）だしているのにならない。お母さんから意見きくとみんな「3年保育なら公立に行くのに」。ただ2年保育だとやはり私立に流れる。	たしかに毎年意見をいただいています。例えば園の見直し、保育料の見直し、それらを踏まえて、3年保育を実施するかどうか、という流れで検討していくと思います。 【部長】

39	来栖委員	お母さんからの意見をきいたが、きつと統廃合するんだね、といわれたが、統廃合のメリットデメリットがアンケートだけではわからない。また、最後のまとめみたいに、バスがでるのか、時間が延長できるのか、いいところあるのか、などはっきりわかれば次の子のことを考えられる。統廃合に反対という意見はないが、どれだけフォローあるのかという問題だという意見あり。	
40	栗田委員	3園が妥当だと思う。2園だと支援が必要な園児が多いとき対処できなくなると思う。家から近いのが親としてはいいが、こどものことを考えると人数が多いほうが後のコミュニケーションとか大事だと思うので、2園か3園にしてほしい。	最初は、そのとおり、園児が少ないので統合を考えていた。 【部長】
41	井原委員	他の保護者にきいたが、新治幼稚園についてはバスがあるので新治幼稚園に入れている人がいるから、バスをなくさないでほしい。	約束はできないがいまのところ、そんな話はないです。 【部長】
42	渡邊委員	統廃合のメリットとして、保育料は私立と同じでその代わりに3年保育にしてバスを運行する。また、例えば新治・都和幼稚園はバスが必要かもしれないが、大岩田と第二は神立から来てる人もいるが、バスはそれほどいらないのかなと。 バス、保育料、3年保育についてはばらばらでなくて、統合していくなかで一緒に考えたほうがいい。	最終的には一緒に考えなければなら ないかと思う。 【部長】
43	石川委員	保育料＝教育内容ときいたとき、寂しいと思った。公立なのでその料金であるということ、またバスは自家用車を好む人もいるし、そうすると駐車場問題もあり、一方、お母さん方からの存続の声を	

		考慮すると3園が妥当かな。預かり保育の時間など、いろんな条件あると思うが、考えてもらえれば	
44	今野委員	納得いく話なので特に意見はありません。	
45	栗山委員	一園長として、施設が多くあるとき、保護者視点・児童視点からみて、ハード面ソフト面、ともに充実した形でできるように市にお願いしたい。預かり保育の園長など。市から援助を受けて充実させられるような方法が望ましいとおもいます。	
46	今野委員	職員の充実はとても大切だと思います。	10月から新規職員を採用予定だったが、採用ができなかったみたいです。要望はしています。 【部長】
47	部長	それではこのように教育委員会のほうへ報告します。学区審議会に諮問し、審議してもらい、その際このことについては参考資料としてみてもらいます。	一応、12月中に委員のみなさんに報告したいと考えております。 【望月課長】

第4回 幼稚園適正配置内部検討委員会 委員意見等 (H28.2.4)

NO	委員	主な意見・質問	その対応等（回答）
1	栗田委員	配慮が必要な子どもについては、どういう方向で考えているのか。	私立幼稚園よりも公立幼稚園のほうに配慮が必要な子が比較的多い現状なので、公立が廃止になると受け皿はどうしても私立幼稚園になるので、今後、私立幼稚園の経営者と市が話を進めていきます。 【望月課長】 民間とすり合わせをして受け入れ態勢を整えていくように進んでいきます。 【湯原部長】
2	部長	教育総合会議で話をしたが、正式な決定は教育委員会での決定なので、その前にこのような会議で市民の皆さんの意見をいただく等のうえで廃止の決定となるかと思います。 なお、延長保育や3年保育について協議しましたが、民間と競争させてそこまでやる必要があるのか、ということで協議・調整がされ、このように至りました。	—
3	栗田委員	パブリックコメントはどのような範囲・規模で行うのか。アンケートではないのか。	行政での重要な計画などについて一般市民から自由な意見をもらうという手段。具体的には、市民が行きやすいところに計画書を置いておき、またはホームページに掲載し、それを見てもらい、意見をもらうものです。 なお、アンケートではないです。 【望月課長】 保育所とほぼ同時期にやります。 【湯原部長】
4	望月課長	まだ決定ではないが、平成30年から土浦幼稚園と新治幼稚園の2園に編成していく予定です。 なお、廃止前年の平成29年は5歳児のみ募集をかける予定です。	—

